

大阪府下における高齢運転者による交通事故発生状況と特徴

(令和2年12月末現在)

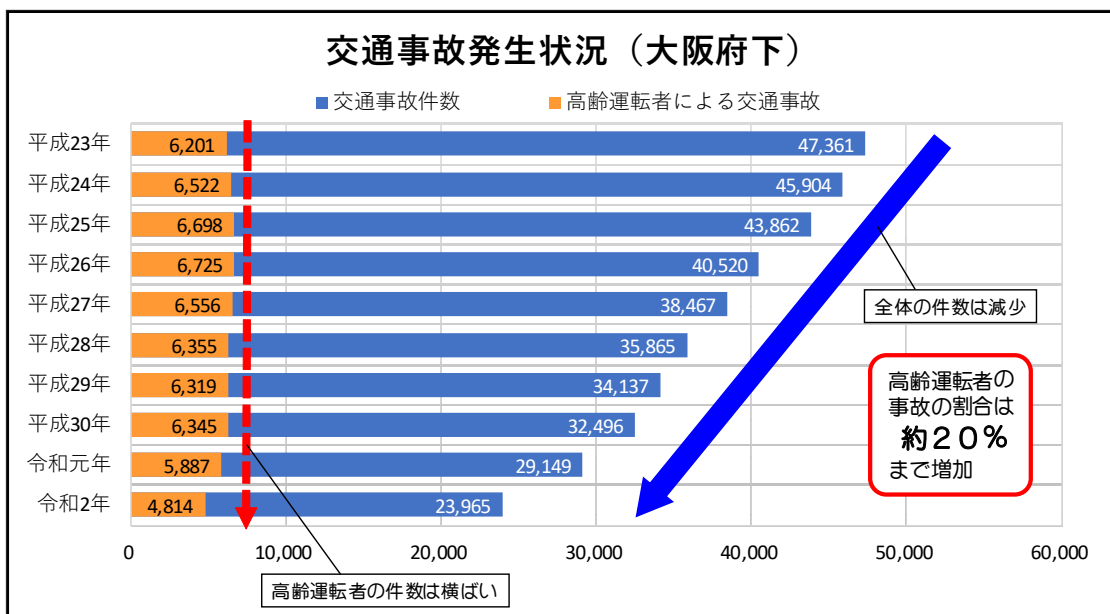
大阪府警察本部交通部 高齢運転者等支援室

1 高齢者免許人口

総免許人口は微増で推移していますが、高齢者（65歳以上）免許人口は大幅な増加傾向を示しており、全体に占める割合は約2割になります。
(平成23年：約69万8千人 → 令和2年：約91万8千人【31%増】)

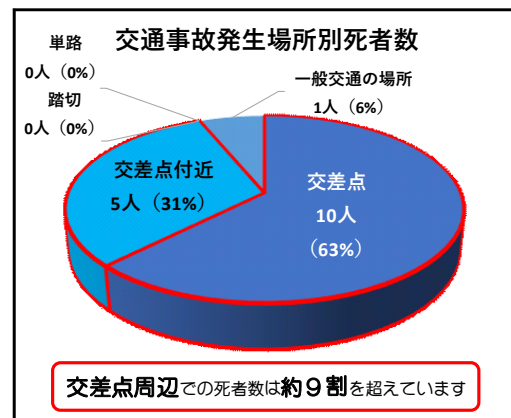
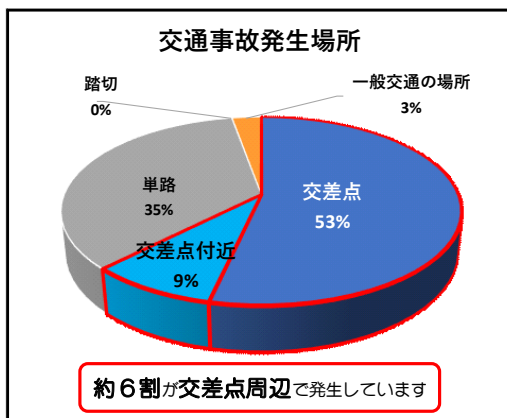
2 高齢運転者による交通事故件数

交通事故全体の件数は減少傾向を示していますが、高齢運転者による事故は減少率が少なく、全体に占める割合は約2割になります。



3 高齢運転者による交通事故の特徴

- 類型別では、出合頭事故が最多となっており、続いて右左折時事故、追突事故の順で発生しています。
- 場所別では、約6割が「交差点」及び「交差点付近」で発生し、死者数から見た場合では約9割を超えています。



- (3) 月別では、1～3月と10月、12月に多発しており、特に12月は最多となります。
- (4) 時間帯別では、午前中の8～12時と薄暮時間帯の16～18時に多発しています。夜間帯（18時～6時）は、交通死亡事故発生率が非常に高くなります。

